

平成25年度「えべっさん」における暴走族等の状況について（報告）

「えべっさん」の開催期間中（11月18日～20日）の広島市における暴走族対策を円滑に推進するため、「えべっさん暴走族対策本部」を設置し、延べ91人の市職員が対応に当たった。

1 期間中の状況

3日間を通じて、アリスガーデン及びその付近一帯で監視及び街頭補導活動を行ったが、特異な動向はなかった。2日目は、アリスガーデン内でダンスパフォーマンス、中央通りで神楽などのイベントが行われていたこともあり、初日、3日目に比べて祭り客が多かった。

2 当課における街頭補導活動

(1) 職員及び相談員による街頭補導活動（19時～22時30分）

ア 活動人数

<1日目> 6人 <2日目> 6人 <3日目> 5人（延べ17人で対応）

イ 状況

喫煙、服装や髪形が目立ったものなどの少年に対し、声かけをした延べ人数は62人。

<性別内訳：男子51人、女子11人>

<学業別内訳：高校生相当43人、中学生13人、小学生5人、成人1人>

(2) 中学校と連携した街頭補導活動

近隣6中学校の教職員、PTA、地域団体などと当課職員が連携してパトロール体制を組み、アリスガーデンや本通り商店街などにおいて、合同で見回りや声かけ活動などの街頭補導活動を実施した。

3 総括

(1) 開催期間中、県警からアリスガーデン内及び付近に面倒見や暴走族OBが姿を現わしているという情報を得たが、い集、集会等の状況はなかった。また、特攻服、統一ジャンパーを着用した者の出没もなく、広島市暴走族追放条例を適用する事案の発生はなかった。

(2) 期間中に警察と合同で行った清掃活動については、ゴミの散乱を防止するとともに、アリスガーデン内の滞留者の移動を促し、特異事案の防止となった。

(3) 警察が期間中に補導した不良行為少年の人数は、延べ58人。（昨年比+25人）。

内訳（主なもの 喫煙51人、深夜徘徊2人など）